

災害時の応急仮設住宅建設で協力 日本ムービングハウス協会と協定締結

町は10月1日、一般社団法人日本ムービングハウス協会と「災害時における応急仮設住宅（移動式木造住宅）の建設に関する協定」を締結しました。

この協定は、町に災害対策本部が設置される災害が発生した場合、町からの要請に基づき、災害時における住民生活の早期安定を図ることを目的に、応急仮設住宅（移動式木造住宅）の建設に関し協力するものです。



「備えること」の大切さ身に付けて

日本生命保険相互会社函館支社が小学校にドリル寄贈

日本生命保険相互会社函館支社は10月11日、児童・青少年の健全育成に向けた取り組みの一環として、鹿部小学校に『うんこ保険ドリル』とDVDを寄贈しました。

ドリルでは、人生において備えることの大切さや、万が一のためお互いが助け合う保険の仕組みを学ぶことができます。

鹿部町と日本生命保険相互会社函館支社は、双方が有する人的・物的資源を有効に活用して、町民の福祉向上、地域の活性化等を図ることを目的に令和3年10月に包括連携協定を締結しています。

鹿部産の牛肉おいしい！

給食でビーフカレー提供

町内で飼育された「鹿部産の牛肉」を使った「ビーフカレー」が10月18日、幼稚園、小中学校の給食で提供されました。

牛肉は、神戸畜産株式会社道南ファームから牛肉20kgが寄贈されたものです。

子どもたちからは「牛肉がたくさん入っていて、柔らかくてすごく美味しい」との声が多く聞かれ、おかわりには列が出来るほど好評でした。

学校給食センターでは、今後も地場産食材（たらこ、ほたて、たこ、昆布など）を学校給食に取り入れ、食育と併せて地産地消に取り組んでいきます。

